### 「計算科学が拓く世界」第7回

地球・惑星・宇宙と計算科学 3 スーパーコンピュータを 用いた気象の予測

防災研究所 榎本 剛 enomoto.takeshi.3n@kyoto-u.ac.jp

2016年11月16日5時限



# 災害気候研究とは

- 気象学を基礎として、大気組成の変化や、異常気象・異常天候の発現過程や予測可能性、気候変動とその機構を解明
- ・ 大気モデルを用いた数値実験や、 長期間の気象海洋観測データ、 現業アンサンブル数値天気予報 データの解析
- ・理学研究科地球惑星科学専攻の 協力講座、大気科学分科に所属









### 今日のお話

- ・ 数値天気予報の歴史
- ・ 大気大循環モデルによる予測
- · 台風進路予測実験
- 課題

### 数値天気予報の父たち

- V. Bjerknes (1904)
  原理的に数値天気予報は可能
- ・ L. F. Richardson (1922) 手計算でやってみたが...
  - →145 hPa/6hの非現実的な気圧変化
- ・ J. Charney, R. Fjørtoft and J. von Neuman (1950) ENIACを使った1日予報

数値気象予測のための必要十分条件

1. 現在の大気の状態の精度のよい推定値

数値予報の歴史

2.大気の状態の時間発展を記述する精度の良い方程式系

BJERKNES, V., 1904: Das Problem der Wettervorhersage, betrachtet vom Standpunkte der Mechanik und der Physik (The problem of weather prediction, considered from the viewpoints of mechanics and physics). – Meteorol. Z. 21, 1– 7. (translated and edited by VOLKEN E. and S. BRO" NNIMANN. – Meteorol. Z. 18 (2009), 663–667).

Bjerknes 1904

### Richardsonの実験

- ・ 鉛直に積分した浅水モデルでの理想実験
- ・ 傾圧モデルでの気圧変化傾向の試算
  - ・ 145 hPa/6hの非現実的な気圧変化
- ・ 将来高速な計算が可能になれば実現しうる夢

# ENIAC: Electronic Numerical Integrator and Computer

- ・世界最初の汎用電子計算機(1946年)
- ・ John Mauchly とPresper Eckertが設計
- Mauchlyは計算で天気予報をしたいと考え、
  コンピュータに興味を持った
- cf. Colossus: 英国でMax Herman Alexander Newmanが 考案し、Thomas Harold Flowersが製作。
   ドイツの暗号解読に利用



















# 現業機関のシステム

- 欧 ECMWF: (3.8 Pflops) 23, 24位
- •英 MetOffice: 11位 (6.5 Pflops), 38, 39位 (2.7 Pflops)
- 韓 Nuri, Miri (2.7 Pflops) 46, 47位
- ・ 仏 Prolix2, Beaufix (2.1 Pflops) 50, 51位
- 米 NOAA: Luna, Surge (1.6 Pflops) 62, 63位
- ・ cf. 気象庁気象研究所: 富士通 (0.94 Pflops) 120位

### 歴代1位のマシン







## 大気大循環モデル













### 品質管理

- ・ データが信頼できるか確認。
- ・ 可能なものは修正。
- ・ 気候値や予報値から大きく外れていないか。
- ・ 航路から外れていないか。

































